

國學院大學學術情報リポジトリ

ヘィヴンズ・ノルマン氏講演会「日本と宗教：
一生の追憶」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000612

ヘイヴンズ・ノルマン氏講演会「日本と宗教：一生の追憶」

日本文化研究所では、国際研究フォーラム「日本の宗教文化を撮る」(2021年12月11日開催、詳細は本誌トピック1参照)の関連企画として、同年11月27日(土)、ヘイヴンズ・ノルマン(Norman Havens)本学名誉教授(神道文化学部元教授・当研究所客員教授)を講師に迎え、講演会「日本と宗教：一生の追憶」を開催した。

長年にわたって日本文化研究所の事業推進に尽力いただいたヘイヴンズ名誉教授は、Religious Studies(宗教学)や日本宗教史についての研究を進める傍ら、神社や寺院、民間信仰といった宗教文化をはじめとする日本文化に関わる数多くの写真を撮影してこられた。本講演は、ヘイヴンズ名誉教授がこれまでに進めてきた宗教研究や、「宗教文化を撮る」ことをテーマとした。

講演会の開催概要は以下の通りである。

■講演会「日本と宗教：一生の追憶」

【日時】11月27日(土)15:00~17:00

Zoomによるオンライン開催

【コメンテーター】

- ・井上順孝(本学名誉教授)
- ・ケイト・ナカイ(上智大学名誉教授)
- ・平藤喜久子(本学教授・当研究所所長)

【司会】

- ・吉永博彰(本学研究開発推進機構助教)

なお、ヘイヴンズ氏の退職記念講演会は当初、2020年3月7日(土)に予定されていたが、同時期の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて延期となっていたため、日本文化研究所の主催行事として改めて企画し、オンラインによる動画配信の形で開催したも

のである。講演会では先ず平藤所長よりヘイヴンズ名誉教授の経歴が紹介され、その後に講演動画が配信された。

講演は三部から成り、その構成・内容は、

○第一部「魅力と失望から生まれる理解」

○第二部「宗教と私」

○第三部「日本と宗教を写真に」

となっている。

第一部では、日本庭園の訪問や禅仏教との出会いなどの日本に興味を抱いた経緯や、日本での滞在経験、日本に対する印象の変化(理想像と失望感)や、神道の「穢れ」を例にみた日本と米国における文化の価値観の相違などに関する言及があった。

続く第二部では、はじめに第一部の内容を補足・発展させ、さらには自身の生い立ちも一部交える形で宗教観、人と宗教との関係性などについて触れた。

そして第三部では、ヘイヴンズ氏がこれまでに撮影してきた多くの画像を示しながら、写真に収めた日本の宗教(施設や行事)について、海外文化と比較しつつ紹介・解説した。

講演動画の公開後、旧日本文化研究所時代以来、ヘイヴンズ氏と長年親交のある井上氏とナカイ氏より、それぞれ思い出も交えたコメントを頂戴した。最後に平藤所長より講演全体へのコメントとヘイヴンズ氏への謝意が示されて、感慨深く講演会は幕を閉じた。なお、当日はZoom上で40名ほどの参加があった。

講演動画は本学の「動画アーカイブ」(下記URL参照)において一般公開されている。

<https://www.youtube.com/watch?v=oJ42hZ3YAzY&t=28s> (吉永博彰)